

代表質問

要旨



自由民主党市議団

土方 桂

第4次総合計画後期基本計画について

問 これまで総合計画と行財政改革を「車の両輪」として市政運営を行ってきたが、これからの5年間の考え方を伺う。

市長 行財政改革の成果により積み上げた基金を有効活用しながら重点課題に対応していく。

東村山市創生総合戦略の策定について

問 総合戦略における人口減少への対応策について伺う。

市長 「若い世代の結婚・出産・子育ての希



日本共産党

山口 みよ

国民健康保険制度は社会保障制度である

問 厚生労働省は国民健康保険の170億円について、「国保税値下げのために使うもの」と答えているが、どう考えるか。

市長 国からの文書には、そのような文言はない。国保会計の赤字補てんや法定外繰入の穴埋めが前提と認識している。

教育施策大綱のシチズンシップは主権者教育に

問 「主権者は憲法で保障された国民である」ということをきちんと教育する必要があると

市長 今後のまちづくりには、必要な路線について全体的なバランスを考え、都市計画マスタープラン等に則り進めたい。



公明党

石橋 光明

国民健康保険財政の国からの支援金について

問 「支援金1億円は市のフットコホへ、被保険者には国保税を大幅値上げ」と報じる東村山民報の記事は事実なのか。

市長 支援金は基盤安定繰出金に計上し、国保会計の赤字補てんとなる法定外繰出金の圧縮に努めた。この記事は全く事実無根である。

「行政内部評価制度の導入について」

問 事務事業の可視化・分析・評価はどのよう手法を目指すのか。

市長 庁舎での企画展の実施は十分可能であり、認知度を高める取り組みを進めていきたい。



ともに生きよう！ネットワーク

佐藤 まさたか

住民主体のまちづくりへ環境整備の加速を

問 市情報のオープンデータが始まったが、さらに住民との対話の場や仕組みづくり、SNS等の活用を意欲的に取り組んでほしいが、見解は。

市長 順次データをオープン化していき、SNSも28年度は積極的に活用していきたい。

学校現場に福祉専門職の増強を

問 スクールソーシャルワーカーに福祉専門職を増員し、さらなる配置をすべきではないか。

市長 ワーカーに福祉専門職を増員し、さらなる配置をすべきではないか。

代表質問とは

市長の「施政方針説明」に対して、会派を代表して質問するものです。東村山市議会では、3人以上の議員が所属する会派から、各1人ずつが行っています。
※代表質問が変わりました
これまで、年2回（3月と9月の定例議会）行ってきましたが、今回から、3月定例議会と市長選挙後最初の定例議会で行うことにしました。
また、一般質問と同様に「一問一答方式」を採用し、簡潔でわかりやすい議会運営に努めています。

一般質問とは

各議員が「市の一般事務」について質問するものです。日頃から感じている疑問、新たな行政課題への対応など、議員それぞれの視点でテーマを決めて質問します。
市議会だよりには、代表質問・一般質問とも内容の一部を質問者順に掲載しています。詳しくは、市議会ホームページ（会議録・議会中継）をご覧ください。

一般質問要旨



日本共産党

たかこう 直子

質問項目
◆介護保険について
◆公共交通網の整備について
◆大雪時の除雪協定について

ヘルパー派遣事業の緩和サービスについて

問 ヘルパーの仕事は専門職としての知識が求められるが、無資格者への研修は長時間か。

健康福祉部長 研修を実施している自治体や研修講師の意見を参考に、6、8時間を想定している。

問 研修の日程と受講者数、認定者数、登録者数を伺う。

健康福祉部長 28年3月25日に研修を予定しているため、人数などは未定である。

問 残された交通不便地域の解消に向けて

問 コミュニティバスの富士見・美住の北ルートは実証運行が決定したが、南ルートはまだである。課題は何か。

まちづくり部長 富士見町1・2丁目には、1便当たりの運行時間が長い「道路幅員が狭くバス車両が運行できない場所がある」等の課題があるため、これらを整理する必要がある。



日本共産党

渡辺 みる

質問項目
◆公立保育所民間移管について
◆児童クラブの現状と今後について
◆スクールソーシャルワーカーの成果と課題について

自治体の役割を明確に位置付けよ

問 保育における地方自治体の役割とは何か。

市長 児童福祉法第24条に基づき「保育の実施責任」を確実に果たすことである。民間に移管する場合も保育水準を担保し、保育の質を確保していく。

SSWのこれまでとこれから

問 スクールソーシャルワーカーを導入して約1年になるが、今後の

教育部長 家庭訪問等で経済的に困難な状況を抱えた場合は、就学援助や生活保護制度等の活用につなげていきたい。



公明党

駒崎 高行

質問項目
◆インターネット利用のルールについて
◆将来を見据えた保育士不足への対策を
◆久米川第1号踏切の拡幅、安全対策を

中学校生徒会が作成した共通ルールを大切に

問 インターネット等の利用に関しては「保護者と相談し、使用時間を決めます」とある。すべての家庭で行われるよう、市として取り組んでいただきたい。いかがか。

教育部長 市民の集い等で家庭や地域へ呼びかけるとともに、各学校には保護者会や学校だより等での周知をお願いしたい。青少年の携帯電話やインターネットの使用

問 久米川第1号踏切の拡幅は、久米川駅北口の道路工事と同時に進行すべきである。考えは。

まちづくり部長 工事のスケジュールを考えると、同時施工は難しい。

